

明治24年11月静岡市に生れ、明治44年3月静岡県立静岡中学校を卒業後、静岡県に奉職したが、後に東京府を経て、昭和2年内務省官房都市計画課に勤務された。



「都市計画法規類集」及び「土地区画整理の歴史と法制」の編纂、出版をされ都市計画の指導、発展

に多大の功績を残された。昭和12年内務省を退官され、名古屋市に奉職され、駅前土地区画整理事務所長として難事業を遂行された。昭和14年満州国において交通部事務官、国務院建築局事務官として建国直後の都邑計画立案に大きな業績を残された。

昭和20年満州国において終戦を迎え、帰国後戦災復興院に在職したが、昭和22年清水市復興部長に就任、昭和24年同市を退職するまで戦災復興を担当された。その後山形市、武蔵野市に奉職し、町名、地番の整理を担当さ

れた。

氏は文筆に長じ、研究心強く多くの著書を残された。主なものに「土地区画整理の歴史と法制」昭和10年、巖松堂刊、「土地区画整理手引」昭和11年、名古屋土地区画整理研究会刊、「都邑計画法と収用制度」康徳10年東亜書院刊、「土地区画整理法制」昭和23年清水市刊、「町村名の研究」昭和28年日日新聞刊、「所の研究」昭和29年山形市役所刊、「文化生活と町名整理」昭和35年東京市政調査会刊、等がある。「所の研究」は昭和35年法務省民事局より復刊され、又自治省より住居表示審議会幹事に委嘱されている。昭和28年には建設大臣より栄ある表彰を受けられた。

晩年活発な文筆活動の後、昭和39年5月23日、大田区南千束町の自宅において心臓喘息のため逝去された。